

# 令和7年度統計部予算の主要事項について

令和6年12月  
大臣官房統計部

令和7年度予算概算決定額	5,095百万円(8,848百万円)
うち農林漁業センサス除き	4,079百万円(3,378百万円)
令和6年度補正予算額	152百万円

※各事項の( )内は令和6年度当初予算額  
※デジタル庁一括計上分を除く

## 1 統計見直しの着実な推進

農林水産統計の効率化を図る業務全般の見直しを図るものとして、調査業務のアウトソーシング及び新たな効率化手法の検証等に関する調査研究を実施する。

### (1) 調査業務のアウトソーシングの推進 1,856(989)

地方統計職員の減少に対応して、令和7年度から農業構造動態調査、新規就農者調査、作物統計調査(水稻以外)、畜産統計調査、牛乳乳製品統計調査、食品流通段階別価格形成調査(水産物調査)及び野生鳥獣資源利用実態調査について、民間委託を導入又は拡充して実施する。令和6年度からの国庫債務負担行為により民間委託している農業物価統計調査、生産者の米穀在庫等調査、内水面漁業生産統計調査及び水産加工統計調査についても、令和7年度から実査(令和6年度は準備等)を行う。

また、農業経営統計調査(農畜産物生産費統計)等について、職員調査から専門調査員調査への段階的移行を実施する。

【民間委託による外部化】 847(304)

【専門調査員への段階的移行】 1,009(685)

### (2) 新たな効率化手法の検証等に関する調査研究 152

#### ① 農畜産物生産費統計の精度向上・効率化手法の検証

外れ値等に対応したウェイト調整手法の開発、AI等を活用した集計業務等の効率化手法の開発、ナッジ手法を活用した調査票・記入例の作成・検討、定量的効果の検証・評価等の調査研究及び実証を実施する。

【農畜産物生産費統計の効率的な実施】

※6年度補正予算

#### ② 効率的な耕地面積調査の確立に向けた調査研究

現地での確認を要する現行の耕地面積調査に代わる効率的な手法を確立するため、人工衛星画像データを活用して農地区画データ情報(筆ポリゴン)を更新し、それを基に耕地面積(統計値)を作成する新たな調査手法の調査研究を実施する。

【効率的な耕地面積調査の確立】

※6年度補正予算

- ③ 統計の品質維持に不可欠な分析的審査の効率化に向けた手法の確立  
農林水産統計の調査結果の妥当性等の確認に必要な関連情報の収集を生成AIにより効率化する手法を開発するため、必要な環境の検討及び実証を実施する。

**【農林水産統計に係る横断的な統計品質の向上】**

※6年度補正予算

## **2 データ等に基づく政策立案支援の推進**

EBPMのニーズの高まり等に対応するため、既存の統計データと、従来の統計調査では把握しきれない農林漁業者等の意識・意向調査やビッグデータ等の新たなデータソースを組み合わせた分析を、本省及び地方組織において実施する。

**【多様なデータソースの活用によるデータの収集・分析の推進】** 47(43)

## **3 農林水産統計システムの安定的な運用**

現行システムの運用・保守等を行うとともに、令和10年度末予定の第二期政府共通プラットフォーム廃止後も調査プログラムを安定的に継続利用するため、次期システム改修に係る改修方針の検討を実施する。

**【農林水産統計システムの運用・保守等】**

※デジタル庁一括計上

## **4 農林漁業センサスの実施**

2025年農林業センサス及び2023年漁業センサスを的確に実施する。

**【農林漁業センサスの実施】** 1,017(5,470)

# 農林水産統計の取組方針について

農林水産統計は、各般の農林水産政策の根拠及び効果測定に必要な客観的なデータを提供する情報インフラ

## 課題と取組方針

- 今後さらに地域拠点（支局）の職員が減少することを踏まえ、
  - ・調査項目の簡素化と併せたアウトソーシングの推進・拡大
  - ・新たな調査手法の導入等による調査の効率化
  - ・支局業務の農政局本局への集約を内容とした業務全般の見直しを推進
- EBPMのニーズの高まりを踏まえ、施策担当部局と連携し、データ等に基づく政策立案を支援
- 政府全体のDX推進の動きにも対応しつつ、農林水産統計システムの安定的な運用を実施

## 令和7年度統計部予算における主要な取組

※各事項の（ ）内は令和6年度当初予算額

### 1 統計見直しの着実な推進

農林水産統計の効率化を図る業務全般の見直しを図るものとして、調査業務のアウトソーシング及び新たな効率化手法の検証等に関する調査研究を実施する。

#### (1) 調査業務のアウトソーシングの推進

【1,856(989)百万円】

地方統計職員の減少に対応して、令和7年度から農業構造動態調査、新規就農者調査、作物統計調査（水稻以外）、畜産統計調査、牛乳製品統計調査、食品流通段階別価格形成調査（水産物調査）及び野生鳥獣資源利用実態調査について、民間委託を導入又は拡充して実施する。

また、農畜産物生産費統計等について、職員調査から専門調査員調査への段階的移行を実施する。

#### (2) 新たな効率化手法の検証等に関する調査研究

【152百万円】

※6年度補正予算

##### ① 農畜産物生産費統計の精度向上・効率化手法の検証

外れ値等に対応したウエイト調整手法の開発、AI等を活用した集計業務等の効率化手法の開発、ナッジ手法を活用した調査票・記入例の作成・検討、定量的効果の検証・評価等の調査研究及び実証を実施する。

##### ② 効率的な耕地面積調査の確立に向けた調査研究

現地での確認を要する現行の耕地面積調査に代わる効率的な手法を確立するため、人工衛星画像データを活用して農地区画データ情報（筆ポリゴン）を更新し、それを基に耕地面積（統計値）を作成する新たな調査手法の調査研究を実施する。

##### ③ 統計の品質維持に不可欠な分析的審査の効率化に向けた手法の確立

農林水産統計の調査結果の妥当性等の確認に必要な関連情報の収集を生成AIにより効率化する手法を開発するため、必要な環境の検討及び実証を実施する。

### 2 データ等に基づく政策立案支援の推進

【47(43)百万円】

EBPMのニーズの高まり等に対応するため、既存の統計データと、従来の統計調査では把握しきれない農林漁業者等の意識・意向調査やビッグデータ等の新たなデータソースを組み合わせた分析を、本省及び地方組織において実施する。

### 3 農林水産統計システムの安定的な運用

※デジタル庁一括計上

現行システムの運用・保守等を行うとともに、令和10年度末予定の第二期政府共通プラットフォーム廃止後も調査プログラムを安定的に継続利用するため、次期システム改修に係る改修方針の検討を実施する。

### 4 農林漁業センサスの実施

【1,017(5,470)百万円】

2025年農林業センサス及び2023年漁業センサスを的確に実施する。

## <対策のポイント>

農畜産物の生産コスト、耕地面積、調査結果の妥当性確認に関連する情報等を効率的に把握する手法を確立するための調査研究を実施します。

## <事業目標>

食料・農業・農村政策の企画・立案・検証等に不可欠なデータの継続的・安定的な提供

### <事業の内容>

#### 1. 農畜産物生産費統計の精度向上・効率化手法の検証

- ① 外れ値等に対応したウェイト調整手法の開発
- ② AI等を活用した集計業務等の効率化手法の開発
- ③ ナッジ手法を活用した調査票・記入例の作成・検討、定量的効果の検証・評価等の調査研究及び実証を実施します。

#### 2. 効率的な耕地面積調査の確立に向けた調査研究

現地での確認を要する現行の耕地面積調査に代わる効率的な手法を確立するため、人工衛星画像データを活用して農地区画データ情報（筆ポリゴン）を更新し、それを基に耕地面積（統計値）を作成するための新たな調査手法の調査研究を実施します。

#### 3. 統計の品質維持に不可欠な分析的審査の効率化に向けた手法の確立

農林水産統計の調査結果の妥当性等の確認に必要な関連情報の収集を生成AIにより効率化する手法を開発するため、必要な環境の検討及び実証を実施します。

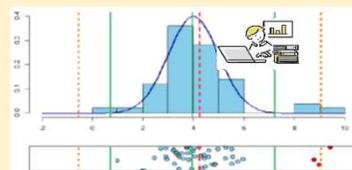
## <事業の流れ>



### <事業イメージ>

#### 外れ値等の補正手法の開発

生産条件、市況、経営状況等により出現した回答の外れ値等を補正するため、回帰モデル補完、欠測値補完、集計ウェイト調整等の手法を開発



外れ値や偏って分布したデータ

#### AIによる調査項目の自動分類

区分	取得価額	耐用年数	現在価
倉庫	1000	30年	200
畜舎	700	20年	
トラクター	1500	8年	1300
田圃機	200		50
コンバイン	300		70
乾燥機	400		200

固定資産台帳

自然言語処理により、農業機械等の固定資産に関する税務申告情報を種類別に自動分類して調査項目に仕訳

#### ナッジ手法を活用した調査票等

ナッジ手法を活用した、理解しやすく分かりやすい調査票等の検討



調査票

#### 効率的な耕地面積調査の確立

衛星画像からAI等を活用して筆ポリゴンを効率的に更新し、それを基に統計値を作成



全国の筆ポリゴン (約3000万筆)

かい廃等があった農地の特定

#### 分析的審査の効率化手法の確立



生成AIを活用して、Web上のオープンな情報や省で保有する内部情報から分析的審査に必要な関連情報を効率的に収集

## 【お問い合わせ先】

- (1の事業) 大臣官房統計部経営・構造統計課 (03-3502-5654)
- (2の事業) 生産流通消費統計課 (03-3501-4502)
- (3の事業) 管理課統計品質向上室 (03-6738-6157)